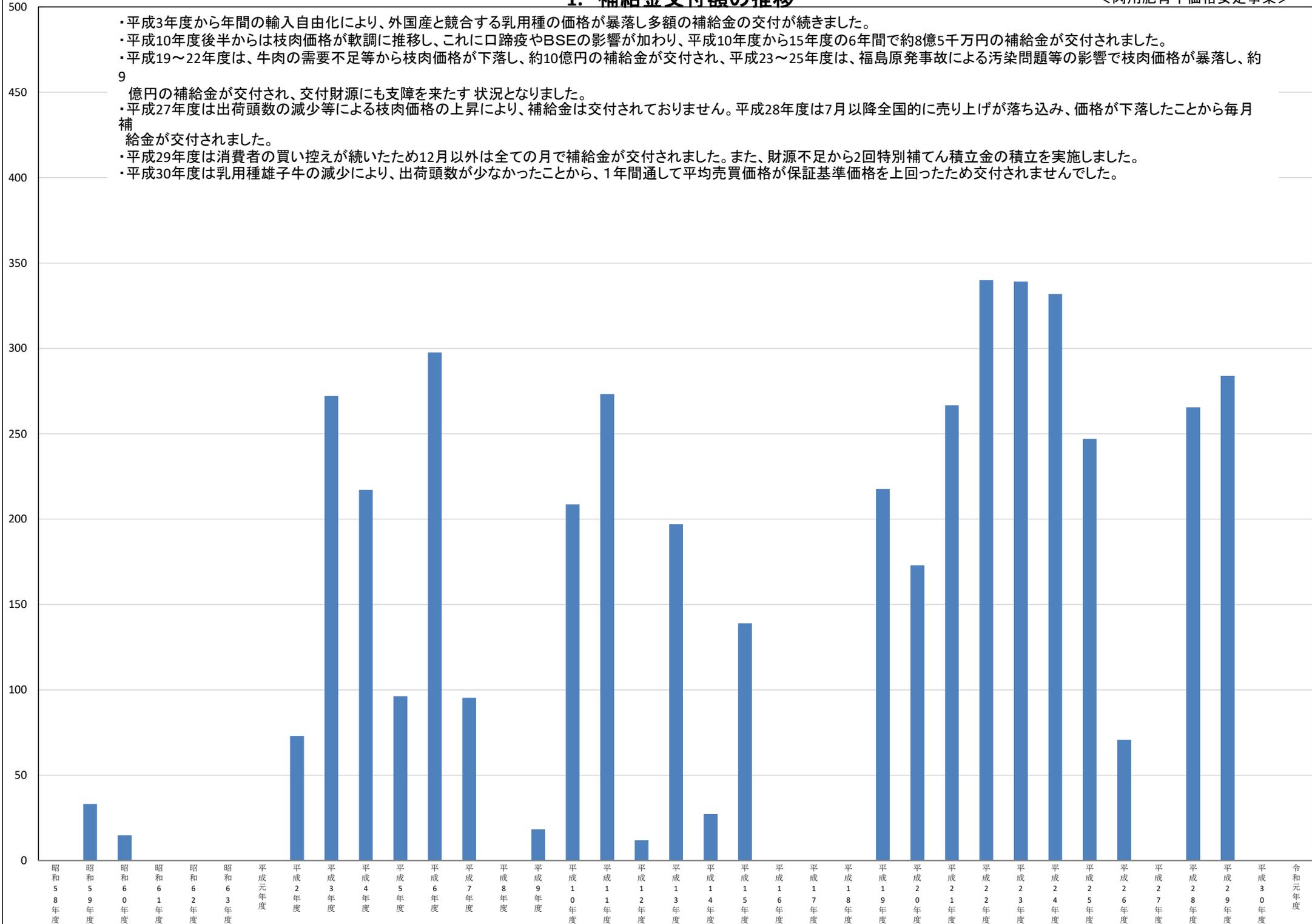


(単位:百万円)

1. 補給金交付額の推移

<肉用肥育牛価格安定事業>

- ・平成3年度から年間の輸入自由化により、外国産と競合する乳用種の価格が暴落し多額の補給金の交付が続きました。
- ・平成10年度後半からは枝肉価格が軟調に推移し、これに口蹄疫やBSEの影響が加わり、平成10年度から15年度の6年間で約8億5千万円の補給金が交付されました。
- ・平成19～22年度は、牛肉の需要不足等から枝肉価格が下落し、約10億円の補給金が交付され、平成23～25年度は、福島原発事故による汚染問題等の影響で枝肉価格が暴落し、約9億円の補給金が交付され、交付財源にも支障を来す状況となりました。
- ・平成27年度は出荷頭数の減少等による枝肉価格の上昇により、補給金は交付されておられません。平成28年度は7月以降全国的に売上げが落ち込み、価格が下落したことから毎月補給金が交付されました。
- ・平成29年度は消費者の買い控えが続いたため12月以外は全ての月で補給金が交付されました。また、財源不足から2回特別補てん積立金の積立を実施しました。
- ・平成30年度は乳用種雄子牛の減少により、出荷頭数が少なかったことから、1年間通して平均売買価格が保証基準価格を上回ったため交付されませんでした。



肉用肥育牛価格安定事業

1補給金交付額の推移 (単位:円)

年度	補給金交付額
昭和58年度	0
昭和59年度	33,238,620
昭和60年度	14,868,945
昭和61年度	0
昭和62年度	0
昭和63年度	0
平成元年度	0
平成2年度	73,013,220
平成3年度	272,218,275
平成4年度	217,176,435
平成5年度	96,382,125
平成6年度	297,672,165
平成7年度	95,379,795
平成8年度	0
平成9年度	18,407,340
平成10年度	208,602,960
平成11年度	273,280,680
平成12年度	11,885,400
平成13年度	196,989,480
平成14年度	27,342,000
平成15年度	138,978,000
平成16年度	0
平成17年度	0
平成18年度	0
平成19年度	217,701,000
平成20年度	172,905,120
平成21年度	266,608,800
平成22年度	339,973,200
平成23年度	339,120,000
平成24年度	331,808,400
平成25年度	246,975,480
平成26年度	70,809,840
平成27年度	0
平成28年度	265,433,760
平成29年度	283,905,000
平成30年度	0
令和元年度	

注:金額は4月～3月実績